

? 問題点?

1, 戦争や人種差別

大人の都合で戦争が起こり、怯えたり悲しんでいる子供がいる。

十分な食事が摂れていない人がある。

平和でない!!

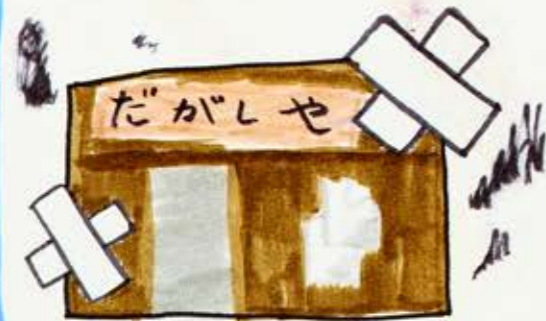


2, 駄菓子屋の衰退

おじいちゃんおばあちゃんの活躍の場が減っている。

子供たちの社交の場が減少。

スマホやゲーム等で引きこもる子が増えるのでは?



+ 赤十字 +

赤十字の大原則である「人道」

→人間の生命を尊重にすること。

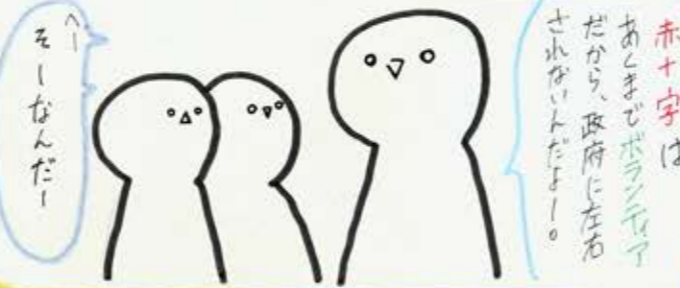
赤十字は、常に公平であり、中立に立っている。

命と健康を大事に、地域社会や世界のために奉仕し、

世界の人々との有効親善の精神を育成することを目的としており、

戦争のときは敵味方関係なく救護し、

平和なときは戦争をなくすために国際交流に動んでいます。



そこで!

そこで!!

私たちは国際交流というところに目をつけました!

民間ベースの絶えざる精神文化交流の中の一つ、

「駄菓子屋」を世界中の子供たちが交流する場にして、

物心がつく前に国籍や民族、肌の色や言語の違いというのを

理解してもらい、たくさんの友達を作ってもらおうと思いました。

たくさんの友達を作ることで、将来相手の国とは

戦争をしたくないと思うようになり、少しずつでも争いがなくなる

のではと思いました

〇〇ちゃんのところと戦争するのヤダだよ! 差別もキライ!!



駄菓子屋の醍醐味

・学校の近くにある。

・地域コミュニティの繋がりと

学びあいの機会がある。

・当たりくじがある。

・子供とおじいちゃん、おばあちゃんの

コミュニケーションの場

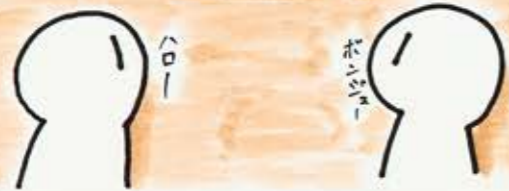
駄菓子屋が世界を救おう

みんなを繋ぐ世界を救う



！解決方法！ 世界中の子供たちが 集まる駄菓子屋！！

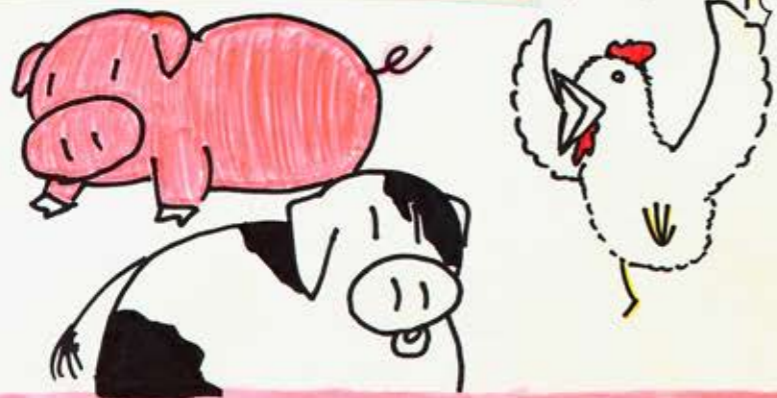
1. 壁に世界中の挨拶を書いた紙を貼る。



2. 日本のお菓子をそのまま英語表記にする。



3. 宗教に合わせたお菓子を提供する。

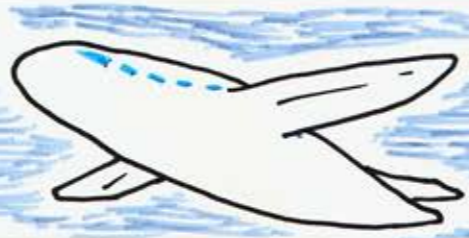


4. 駄菓子屋で国際〇〇大会を開催し、絆を深める。



5. 空港や、商店街などの人が集まる場所に設置する。

インターナショナルスクール



6. 人生の先輩たちが駄菓子屋の店主になり、
様々な年代の人が集まり、「人生の学校」となる。



未来

身近な駄菓子屋を通じて、そこで知り合うことで
相手のことをよく理解し、思うようになります。

⇒物心つく前に知り合い、友達になることで、

人種差別が無くなり、たくさんの人と
繋がることにより、戦いたくないと思うことで
数十年、数百年後には戦争が無くなる！

⇒その場所が国際交流に使われることにより、

自然と駄菓子屋が増えてゆき、
おじいちゃんおばあちゃんの活躍の場が増えてゆく。

